



Rainbow letter

2025.12

No. 48

日本周産期メンタルヘルス学会・ニュースレター

学術集会開催報告

大会長 春名めぐみ

(東京大学大学院医学系研究科 母性看護学・助産学分野教授)

2025年9月26日(金)・27日(土)、東京都千代田区の一橋講堂にて「生きる力を次世代につなぐ周産期メンタルヘルス」をテーマに、第21回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会を開催しました。現地開催とオンデマンド配信を併用し、全国から870名の参加者を迎え、大変盛況のうちに終了しました。

特別講演では、井村真澄先生による「女性とともに歩む助産師と周産期メンタルヘルス」、笠井清登先生による「周産期メンタルヘルスを見るメガネとしてのTICPOC」など、支援の基盤となるパートナーシップや当事者理解の重要性が示されました。シンポジウムでは「家族支援」「大学病院におけるリエゾン」をテーマに、親支援、父親支援、地域助産ケア、乳児院での取り組み、大学病院での多職種連携など、現場の課題を多角的に掘り下げました。さらに、イブニングセミナーや教育講演では、周産期心理症候群の心理療法、神経発達症、薬物治療、虐待予防など幅広い知見が共有されました。「支援者支援ワークショップ」では、支援者自身が支援されることの大切さを体験し、現場の課題を持ち寄る貴重な機会となりました。懇親会には約70名が参加し、多職種間で交流と熱い議論が交わされました。

オンデマンド配信は11月16日まで行われ、学びを継続できる環境を提供しました。参加者からは「現場の課題を共有できた」「多職種連携の重要性を再認識した」「新たな連携を始めることにした」との声が寄せられ、次世代に生きる力をつなぐための新たな一歩となりました。来年も多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。



第21回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会
Japanese Society of Perinatal Mental Health
テーマ 生きる力を次世代につなぐ周産期メンタルヘルス



次回学術集会

2026.10/31・11/1

さいたま市 ソニックシティ

周産期メンタルヘルスのこれまで・これから

大会長 岡島美朗

シンポジウム開催報告

第22回日本うつ病学会

2025年7月11日-12日に、浜松町にて、第22回日本うつ病学会(大会長:順天堂大学加藤忠史教授)が開催されました。日本周産期メンタルヘルス学会から、座長に根本清貴先生(筑波大)・菊地紗耶先生(東北大)のもと「産後うつ診療の最前線:異性の理解と包括的アプローチ」と題したシンポジウムが執り行われました。

シンポジウムでは、「産後うつの異種性:臨床的特徴と鑑別のポイント」と題し、福本健太郎先生(岩手医大)から、双極症を含む生物学的な側面を持つ産後うつ病と、心理社会的要因が複雑に絡み合う産後うつとの異種性を説明いただきました。次に柏木から「産後うつと自殺」というテーマで、話題提供させていただきました。菊地紗耶先生から「産後うつ病における薬物療法の実践と新たな選択肢」として、産後うつ病の薬物治療と各種ガイドラインを引用と、他国で承認されたアプロプレグナノロン類似体などの新規治療薬の概説をいただき、飯田仁志先生(福岡大)から「産後うつ病の心理社会的介入——傾聴と共感を基盤とした包括的支援の実践」として、非薬物療法としての精神療法による心理社会的介入の役割を説明いただきました。最後に、宮田郁精神看護専門看護師(大阪医科薬科医大)から「産科—精神科をつなぐ役割における産後うつ病の異種性の検討—リエゾナーズの立場から」として、産後うつ病患者を精神科医療につなぐトリアージの実践を解説いただきました。

初日、朝1番目のシンポジウムにも関わらず、多くの方に参加していただき、女性の周産期にまつわる精神疾患への注目度の高さを実感しました。その後のパネルディスカッションでは、参加者と臨床的な内容で活発な討論が行われました。

前総会では、周産期関連のシンポジウムが1つでしたが、今総会ではシンポジウム3つ、教育講演が1つと、周産期メンタルヘルスに関わる演題が増えていました。いずれのプログラムも他領域・多職種の方が参加されており、周産期メンタルヘルスの関心と発展への期待が寄せられていました。

次回の日本うつ病学会は、日本自殺予防学会との特別合同総会として、2026年7月9日から11日の日程で札幌コンベンションセンターにて執り行います。僭越ながら筆者(柏木)が第23回日本うつ病学会総会の事務局長を拝命し、現在鋭意準備中です。周産期メンタルヘルスのシンポジウムとして、「妊産褥婦の自殺」と「産婦人科医師と精神科医師のクロストーク」、ワークショップでは「妊産褥婦の自殺未遂」をテーマにした危機介入ワークショップを予定しております。初夏の北海道に、ぜひお越しください。(正会員/柏木智則/札幌医科大学医学部神経精神医学講座助教)



企画・発行:日本周産期メンタルヘルス学会 情報関連委員会

当学会では会員の皆様にとって有用な情報をニュースレターで取り上げていきます。
ご意見やご要望がありましたら事務局までお知らせください。